

大会名称: 第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 6 男子 決勝

期 日: 2015(H27)年11月15日(日)

主審: 柏原琢磨

開始時間: 14:45

第1副審: 堀内 純

終了時間: 16:30

第2副審: 山田豊広

<b>尽誠学園</b> (香川県)	○ 105	28 — 13	● 56	<b>徳島クラブ</b> (徳島県)
		27 — 19		
		29 — 13		
		21 — 11		
		—		
		—		
		—		

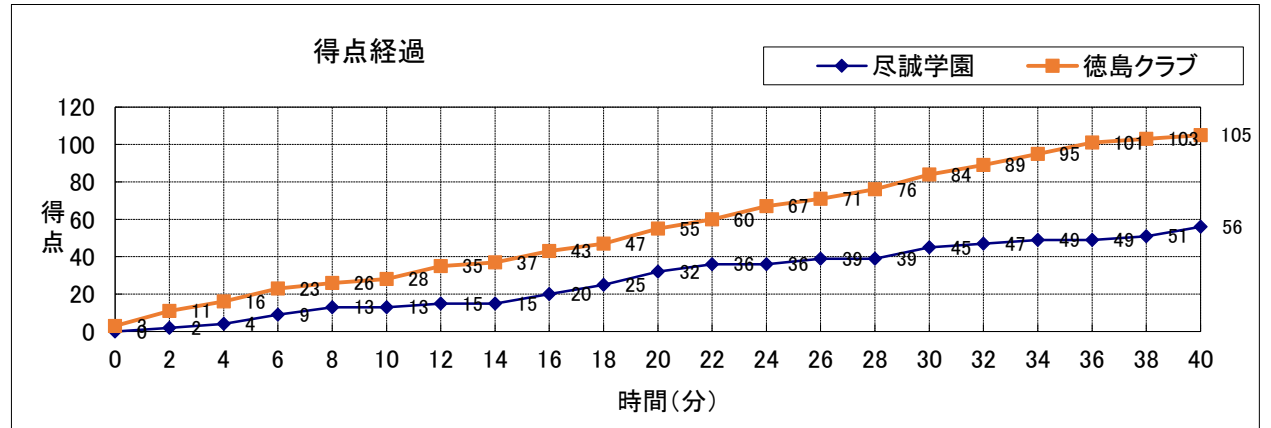
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		出口 琢也	0	0	0	0	0
5	*	小谷 健太	9	1	2	2	2
6		松尾 季風	12	0	6	0	2
7	*	葛原 海都	8	0	4	0	2
8	*	リンダーライオン雅輝	16	0	8	0	3
9		濱田貴流馬	11	1	4	0	1
10		松本 雅樹	-	-	-	-	-
11	*	川口 廉人	20	6	1	0	2
12	*	古谷 太一	7	1	2	0	1
13		大竹 一雅	0	0	0	0	1
14		上田 隼輔	4	0	2	0	1
15		高岡圭汰朗	6	0	3	0	0
16		中本 龍	6	2	0	0	2
17		前山 英之	0	0	0	0	0
18		植原 州哉	6	0	3	0	1
19		片桐 久裕	-	-	-	-	-
HC		色摩 拓也 / TEAM					-
		合計	105	11	35	2	18

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		藤田 宗成	0	0	0	0	0
1	*	市橋 信彦	14	1	5	1	0
2		坂東 武幸	-	-	-	-	-
6	*	永田 勝大	8	0	2	4	0
7		木村 領吾	1	0	0	1	0
8		光山 直希	-	-	-	-	-
10	*	小笠 裕史	6	0	2	2	0
11		丸岡 和史	-	-	-	-	-
12		松本登紀男	4	0	2	0	0
14		木村 侑也	-	-	-	-	-
15		丸岡 義謙	0	0	0	0	0
18		十川 佳司	8	2	1	0	0
19		蘆田 隆行	-	-	-	-	-
24	*	平石 侑督	9	0	1	7	0
33	*	谷 健二郎	6	2	0	0	0
34		真中幸次郎	-	-	-	-	-
HC		吉岡 博文 / TEAM					-
		合計	56	5	13	15	0

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。徳島は序盤、カットインなどで攻撃を仕掛けるも、なかなか得点には結びつかない。尽誠は#11、#12を中心に、開始8分までに合計6本の3Pを沈めるなどして点差を広げ、13-28と尽誠15点リードで終了。  
第2ピリオド、徳島はディフェンスでプレッシャーをかけて仕掛けるも、パスミスなどから逆に尽誠にファストブレイクを決められる。尽誠は#8のミドルシュートを始めとした早いパス回しと運動量で得点を伸ばし、試合の流れを掴んでいく。徳島は終盤#18が3Pを連続で決めるものの、32-55の尽誠23点リードで前半を折り返す。  
第3ピリオド、徳島は#24のオフェンスリバウンドからの粘り強い攻撃で追いつこうとするが、尽誠が#5のミドルシュートやフリースローを決めることで流れを譲らない。残り5分で尽誠はディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替え、スティールからのファストブレイク・3Pで一気に勝負をかける。45-84の尽誠39点リードで第4ピリオドを迎える。  
最終ピリオド、徳島はパス回しから#33を中心とした3Pで点差を詰めようとする。しかし、尽誠の豊富な運動量やオフェンスリバウンドで次第に得点のチャンスが失われていく。終盤、尽誠のパスミスなどから徳島#12が得点を返す場面があったが、その差は縮まることなく105-56で尽誠が勝利し、オールジャパンへの出場を決めた。運動量とディフェンス力が勝負の分かれ目となった試合であった。

担当者: 渡部 真也(愛媛県バスケットボールクラブ連盟) 四国バスケットボール協会



大会名称: 第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 5 女子 決勝

期 日: 2015(H27)年11月15日(日)

主審: 小島慶子

開始時間: 13:00

第1副審: 中井将基

終了時間: 14:45

第2副審: 池松和久

英明 (香川県)	○ 76	25	—	20	● 75	今治オレンジブロッサム (愛媛県)
		11	—	17		
		22	—	21		
		18	—	17		
		—	—	—		
		—	—	—		

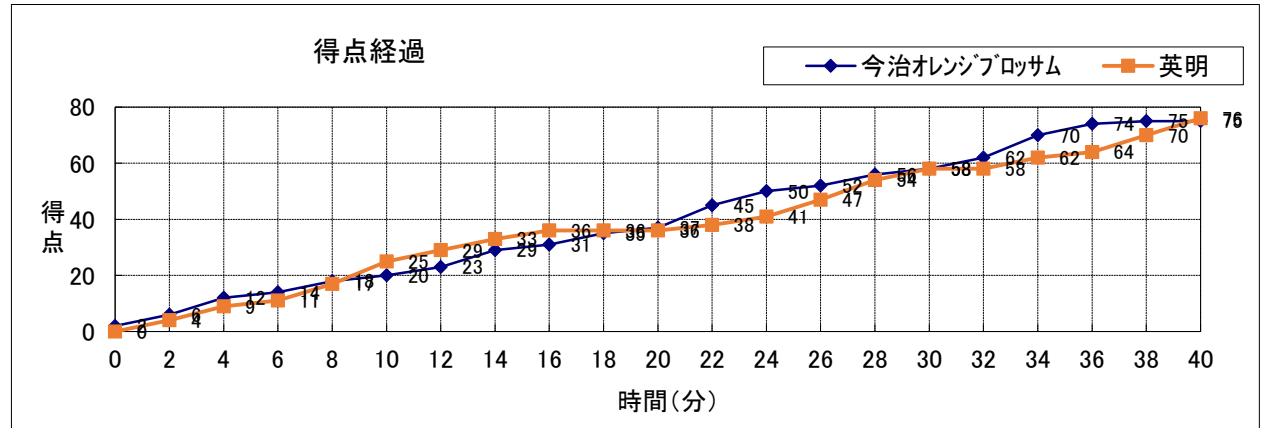
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		有木 沙織	4	0	2	0	0
5	*	古本 紗若	27	1	12	0	0
6	*	山中 葵	12	0	5	2	0
7	*	橋本 百花	13	0	6	1	0
8	*	西本 沙季	10	1	3	1	0
9	*	細野 千尋	3	0	1	1	0
10		川口 なお	-	-	-	-	-
11		濱田 侑里	5	1	1	0	0
12		上原 愛生	-	-	-	-	-
13		種 奈々子	-	-	-	-	-
14		太田 悠水	2	0	1	0	0
15		仲村奈々星	-	-	-	-	-
16		山田 琳華	-	-	-	-	-
HC		井上 晃 / TEAM	-	-	-	-	-
		合計	76	3	31	5	0

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
5	*	堀内 聡美	15	1	5	2	2
6		古川知加子	-	-	-	-	-
7	*	酒井 景子	9	0	4	1	2
8		田村 由佳	-	-	-	-	-
9	*	精木 由依	8	0	3	2	3
11		川端実乃里	5	0	2	1	2
12		山口 珠貴	-	-	-	-	-
13		武村 菜	0	0	0	0	2
14	*	大森 彩乃	13	0	6	1	1
15		柏 彩	-	-	-	-	-
16		近藤 啓子	-	-	-	-	-
17	*	吉川 裕子	25	2	8	3	2
18		宮武 麻理	-	-	-	-	-
HC		渡部 治 / TEAM	-	-	-	-	-
		合計	75	3	28	10	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンでスタート。高さのあるオレンジブロッサムが#7の連続得点などで優勢にゲームを進める。当初ゲームを支配してオレンジブロッサムだが、英明がよく粘り、#6のポストプレー、#5の2Pが決まり逆転。英明リードで第1ピリオド終了。  
第2ピリオド、オレンジブロッサムは、ボールを全員で回しながらゲームを作っていく。英明は#5、#6が得点を重ねる。高校生が豊富な運動量で社会人に必死に食らいつき、37-36とオレンジブロッサム1点リードで前半を折り返す。  
第3ピリオド、オレンジブロッサムは#7のミドルシュートから引き離す。それに対し英明は豊富な運動量でディフェンスを頑張り、#9のシュートで残り1分同点に追いつく。その後、両チームとも点を取り合い、同点のまま最終ピリオドに。  
第4ピリオド、オレンジブロッサムが落ち着いたパス回しで得点を重ね、開始4分で10点差をつける。しかし、英明も激しいディフェンスからよく粘り、#5、#7の2Pなどで徐々に点差を詰め、残り1分、同点に追いつく。そして、残り7秒で英明の#4のシュートが決まり、逆転。最後はオレンジブロッサムのシュートがリングに嫌われゲームセット。英明高校が白熱した試合を制し、オールジャパンへの出場を決めた。

担当者: 石本 美貴(愛媛県クラブバスケットボール連盟) 四国バスケットボール協会



大会名称: 第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Bコート

試合区分: No. 4 男子 準決勝

期 日: 2015(H27)年11月15日(日)

主審: 小谷将夫

開始時間: 11:15

副審: 仲地祥吾

終了時間: 13:00

徳島クラブ (徳島県)	○ 85	18	—	24	● 75	愛媛教員クラブ (愛媛県)
		21	—	18		
		25	—	13		
		21	—	20		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		藤田 宗成	-	-	-	-	-
1	*	市橋 信彦	24	2	4	10	1
2		坂東 武幸	-	-	-	-	-
6	*	永田 勝大	6	0	3	0	1
7		木村 領吾	-	-	-	-	-
8		光山 直希	-	-	-	-	-
10	*	小笠 裕史	11	3	1	0	3
11		丸岡 和史	-	-	-	-	-
12		松本登紀男	-	-	-	-	-
14		木村 侑也	-	-	-	-	-
15		丸岡 義謙	6	0	3	0	2
18		十川 佳司	9	2	1	1	4
19		蘆田 隆行	-	-	-	-	-
24	*	平石 侑督	6	0	3	0	3
33	*	谷 健二郎	23	3	5	4	2
34		真中幸次郎	-	-	-	-	-
HC		吉岡 博文 / TEAM	-	-	-	-	-
		合計	85	10	20	15	16

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
1		葛川 貴大	13	2	3	1	1
4		岩井 仁志	5	1	1	0	0
5	*	岩田 翔	2	0	1	0	4
6		井坂 章吾	2	0	1	0	1
7	*	橋山 裕輝	13	1	5	0	4
8		水崎 一良	-	-	-	-	-
9		永井 瑞樹	-	-	-	-	-
10	*	岡田 健佑	17	1	5	4	1
11	*	永井 聖太	9	0	4	1	3
12	*	池松 健彦	12	1	3	3	3
13		吉田 知之	2	0	1	0	0
14		西岡 大輔	-	-	-	-	-
15		奥平 拓帆	-	-	-	-	-
16		新海 孝則	-	-	-	-	-
17		鈴木 道正	-	-	-	-	-
18		池内 丈二	-	-	-	-	-
19		小笠原 淳	-	-	-	-	-
20		曾根 孝平	-	-	-	-	-
HC		川中 正成 / TEAM	-	-	-	-	-
		合計	75	6	24	9	17

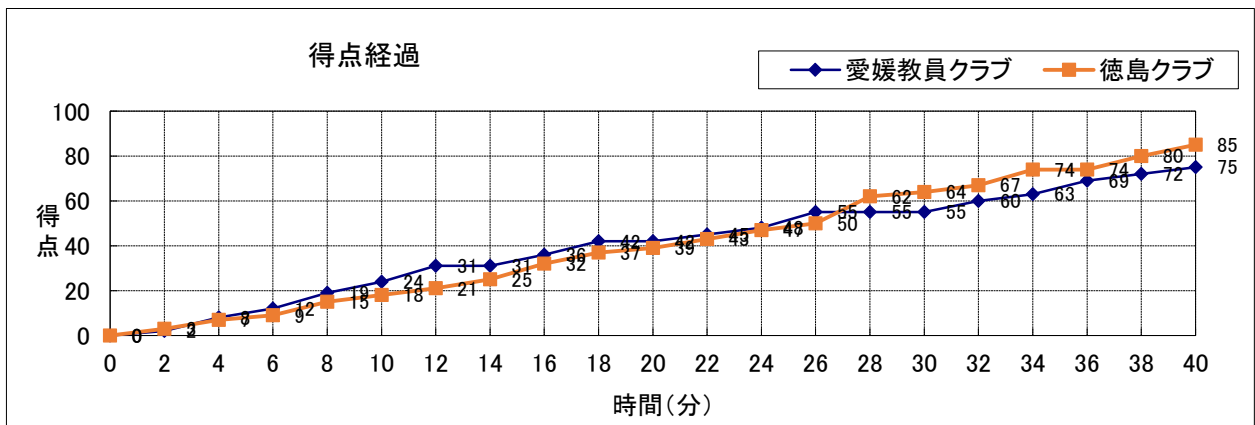
S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。愛媛はインサイド中心、徳島はアウトサイド中心で攻める。お互いになかなか得点できず、終了間際に愛媛#4がスティールからレイアップで得点し、24-18で愛媛リードで第1ピリオド終了。  
第2ピリオド、愛媛#10の得点で徳島のタイムアウト。その後、愛媛がメンバー交代と同時にディフェンスをゾーンディフェンスに変更する。その後、一進一退の攻防続き、42-39で愛媛リードのまま終了。  
第3ピリオド、愛媛#12のバスケットカウントでスタート。愛媛はマンツーマンディフェンス。徳島は3-2ゾーン。愛媛#12の3Pで得点。徳島は#1、#33、#6のドライブで応戦。愛媛は#7がボールをコントロールするが得点できず攻めあぐむ。徳島は#33の3Pが決まりだし逆転。#6、#1のミドルシュートも追い打ちをかける。愛媛はインサイドの得点機会を生かせず徳島リードで第3ピリオド終了。  
第4ピリオド両チームマンツーマンスタート。徳島はセットオフエンスから#10の3Pで得点。徳島は順調に3Pを沈めていく。この試合はじめての徳島2桁リード。愛媛は#10のインサイドで応戦するも、接触プレーで負傷しメンバーチェンジ。愛媛はタイムアウトののち、早い攻撃を仕掛け、ディフェンスもオールコートマンツーマンに変更。徳島を焦らせ、ミスを誘う。しかし、徳島はファウルで得たフリースローを確実に決め加算する。最終盤、愛媛はファウルゲームに持ち込むが徳島はきっちりボールキープする。徳島は後半開始時に得たリードを守り切り、75-85で試合終了。

担当者: 森永 亮(愛媛県クラブバスケットボール連盟)

四国バスケットボール協会



大会名称: 第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 3 男子 準決勝

期 日: 2015(H27)年11月15日(日)

主審: 阿部知裕

開始時間: 11:15

副審: 薦田侑二郎

終了時間: 13:00

<b>尽誠学園</b>  (香川県)	○ <b>67</b>	15	—	18	● <b>57</b>	<b>UNITE</b>  (高知県)
		11	—	13		
		28	—	9		
		13	—	17		
		—	—	—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		出口 琢也	2	0	1	0	0
5	*	小谷 健太	18	2	4	4	0
6		松尾 季風	2	0	1	0	0
7		葛原 海都	0	0	0	0	0
8	*	リンダー ライアン雅輝	13	0	5	3	0
9	*	濱田貴流馬	14	0	5	4	0
10		松本 雅樹	-	-	-	-	-
11	*	川口 廉人	11	2	1	3	0
12	*	古谷 太一	4	0	2	0	0
13		大竹 一雅	-	-	-	-	-
14		上田 隼輔	-	-	-	-	-
15		高岡圭汰朗	0	0	0	0	0
16		中本 龍	3	1	0	0	0
17		前山 英之	-	-	-	-	-
18		植原 州哉	0	0	0	0	0
19		片桐 久裕	0	0	0	0	0
HC		色摩 拓也 / TEAM					-
		合計	67	5	19	14	0

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0	*	久保 貴義	13	2	3	1	2
1	*	江元 康人	8	0	2	4	2
5	*	松岡 治宏	17	0	7	3	2
8		田村 大祐	4	0	2	0	4
9	*	谷内 陽	6	0	2	2	2
10	*	金崎 優生	3	1	0	0	1
11		西原 翔平	2	0	1	0	0
13		藤原 康裕	-	-	-	-	-
19		小笠原堯之	-	-	-	-	-
25		山崎 雄輔	4	0	2	0	2
34		宮本 千博	-	-	-	-	-
HC		和田 栄治 / TEAM					-
		合計	57	3	19	10	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

第1ピリオド、両チームともハーフコートのマンツーマンで始まる。ユニイトは#0の3Pを皮切りに得点を重ねる。対する尽誠は開始3分のタイムアウト後、#12のミドルシュートなどが決まり、流れを変え、逆転に成功する。ユニイトはその後、再度#0中心の得点により逆転し、18-15のユニイトのリードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドは開始から尽誠の激しいディフェンスからスティールが生まれ、#8のファストブレイク、#19のミドルシュートが決まる。対するユニイトは#5がファストブレイクからのバスケットカウントを決める。両者とも激しいディフェンスにより均衡した状態が続き、31-26のユニイト5点リードで前半を折り返す。

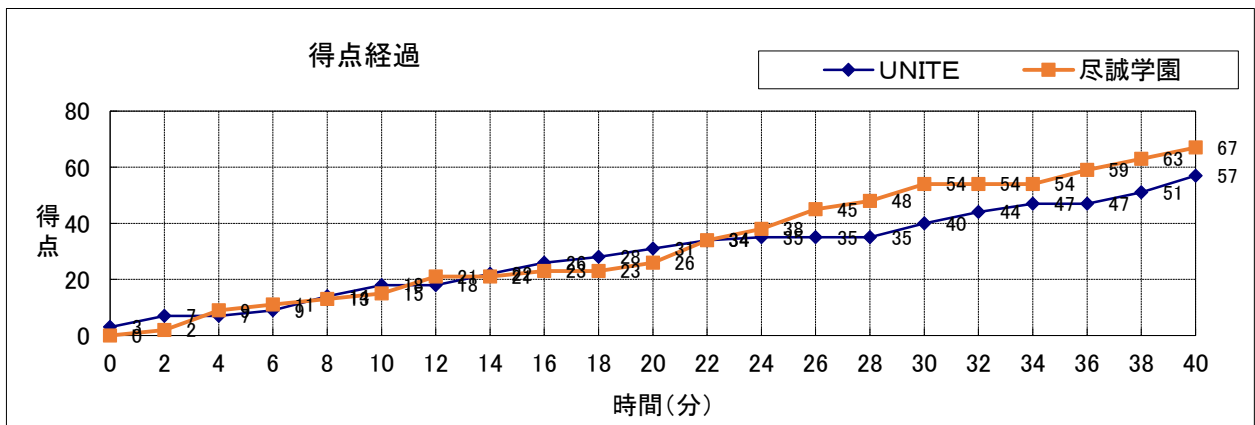
第3ピリオドは立ち上がりから両チームとも3Pが決まり、得点の取り合いとなる。尽誠は#11がファウルを誘いフリースローを決める。ここから、尽誠が運動量で勝るようになり、徐々に流れを引き寄せる。ペースを取り戻したいユニイトは思うように得点ができなくなり、10点差のリードを許したところでもたもたタイムアウトを取る。しかし流れは変わらず、尽誠はフリースローを着実に入れ、#5のドライブインも決まり、54対40の尽誠14点リードで最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、追いつきたいユニイトは#1のインサイド、#25のスティールからのファストブレイクで一気に攻勢をかける。尽誠も#8のブロックショットとミドルシュートで流れを渡さない。残り5分でユニイトはファストブレイクやカットインからの攻撃によってファウルをもらおうがフリースローを決めきることができず、点差を縮めることができない。尽誠はディフェンスリバウンドを確実に拾い、チャンスを作らなかった。最終スコアは67-57で尽誠の勝利。

運動量とフリースローが勝敗の決め手となった試合であった。

担当者: 石山 久司(愛媛県バスケットボールクラブ連盟)

四国バスケットボール協会



大会名称: **第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会**

開催場所: **愛媛県総合運動公園体育館 Aコート**

試合区分: **No. 1 女子 準決勝**

期 日: **2015(H27)年11月15日(日)**

主審: **竹島則夫**

開始時間: **09:30**

副審: **三谷修司**

終了時間: **11:15**

今治オレンジブロッサム (愛媛県)	○ 72	20	—	9	● 46	JOIN (徳島県)
		19	—	14		
		19	—	9		
		14	—	14		
		—		—		
		—		—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
5	*	堀内 聡美	12	3	1	1	1
6		古川知加子	4	0	2	0	0
7	*	酒井 景子	7	1	2	0	0
8		田村 由佳	—	—	—	—	—
9	*	構木 由依	17	0	8	1	1
11		川端実乃里	8	1	2	1	4
12		山口 珠貴	0	0	0	0	0
13		武村 葉	7	1	2	0	1
14	*	大森 彩乃	3	1	0	0	0
15		柏 彩	0	0	0	0	1
16		近藤 啓子	—	—	—	—	—
17	*	吉川 裕子	10	0	5	0	2
18		宮武 麻理	4	0	2	0	3
HC		渡部 治 / TEAM					—
		合計	72	7	24	3	13

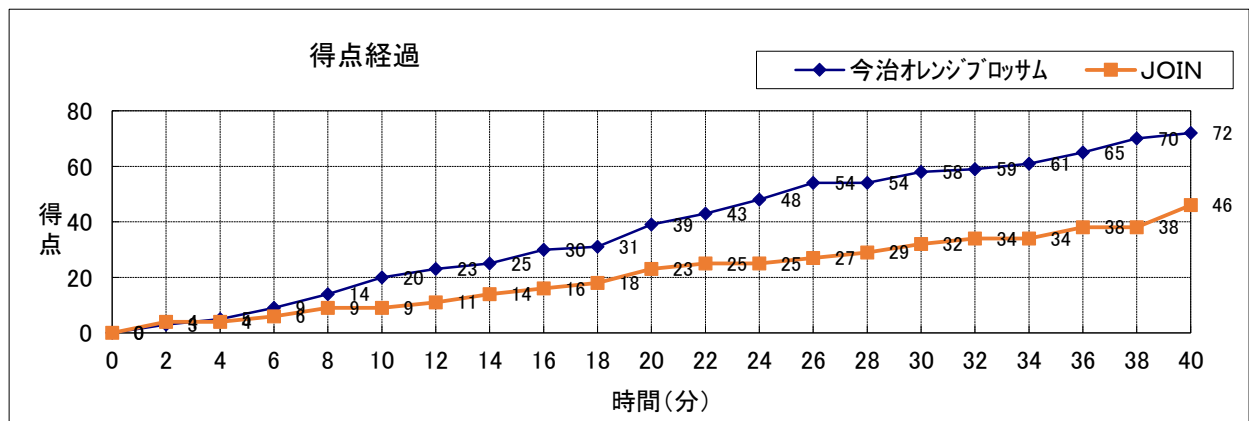
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		鈴鹿さおり	—	—	—	—	—
5	*	松浦 亜希	20	1	5	7	3
7	*	藤浦 真弓	5	0	2	1	2
8	*	中尾 真理	5	1	1	0	2
9	*	西 智美	0	0	0	0	0
10		清水里衣子	0	0	0	0	0
11		木下 優菜	—	—	—	—	—
12	*	山原 尚恵	11	0	5	1	2
13		富樫 未来	—	—	—	—	—
14		谷口 陽香	—	—	—	—	—
15		佐賀 智種	0	0	0	0	0
16		泊 咲織	5	1	0	2	0
HC		大平 雅一 / TEAM					—
		合計	46	3	13	11	9

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

第1ピリオード、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。ブロッサムは早いパスから#9のポストプレイで連続得点する。一方、JOINは相手のディフェンスに阻まれ思うように得点できない。終盤#8の3Pが決まるが、9-20で第1ピリオードを終える。  
 第2ピリオード、ブロッサムは#14、#5の3Pが決まり点差を広げる。さらに#9のポストプレイによって得点を重ねる。JOINは立ち上がりからブロッサムのディフェンスに阻まれ思うように得点できない。ドライブインで応戦し相手のファウルで得点を重ねるも、23-39とブロッサム16点のリードで前半を折り返す。  
 第3ピリオード、JOINはシュートを試みるが思うように得点につながらない。終盤、ドライブインで相手のファウルを誘いフリースローを決める。また、スクリーンを使ったプレーで果敢に応ずるも、32-58とブロッサムリードでゲームは最終ピリオードに。  
 第4ピリオード、JOINはブロッサムの激しいディフェンスに思うように得点できない。中盤3Pやリング下でのシュート、ドライブインで応戦し、相手のファウルからのフリースローを確実に決めるも、なかなか得点差は縮まらない。対するブロッサムはバスケットからの速攻や#9のリバウンドシュートで得点を重ね、72-46でゲーム終了。最後まで確実なプレーで得点を重ねた今治オレンジブロッサムが、決勝への進出を決めた。

担当者: 小西 直美(愛媛県クラブバスケットボール連盟)

四国バスケットボール協会





大会名称: **第62回四国総合バスケットボール選手権大会兼第91回天皇杯  
第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会四国ブロック予選大会**

開催場所: **愛媛県総合運動公園体育館 Bコート**

試合区分: **No. 2 女子 準決勝**

期 日: **2015(H27)年11月15日 (日)**

主審: **堀江友希**

開始時間: **09:30**

副審: **若山輝紀**

終了時間: **11:15**

<b>英明</b>  (香川県)	○ <b>73</b>	17 - 21	● <b>65</b>	<b>岡豊</b>  (高知県)
		18 - 23		
		21 - 7		
		17 - 14		
		—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		有木 沙織	0	0	0	0	1
5	*	古本 紗若	24	0	11	2	0
6	*	山中 葵	2	0	0	2	3
7	*	橋本 百花	14	0	7	0	3
8	*	西本 沙季	17	1	7	0	1
9	*	細野 千尋	5	1	1	0	1
10		川口 なお	0	0	0	0	0
11		濱田 侑里	3	1	0	0	1
12		上原 愛生	—	—	—	—	—
13		種 奈々子	—	—	—	—	—
14		太田 悠水	8	0	4	0	5
15		仲村 奈々星	—	—	—	—	—
16		山田 琳華	—	—	—	—	—
HC		井上 晃 / TEAM	—	—	—	—	—
		合計	73	3	30	4	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	門田 唯	13	1	4	2	3
5	*	溝渕 咲彩	15	0	7	1	1
6		篠田 果歩	—	—	—	—	—
7	*	窪田 明穂	17	2	4	3	1
8	*	和泉 絵利子	5	1	1	0	3
9		高橋 亜弥	—	—	—	—	—
10		原田 佳苗	—	—	—	—	—
11		吉村 百加	—	—	—	—	—
12		前田 夏輝	—	—	—	—	—
13		田野 日菜乃	—	—	—	—	—
14	*	田村 碧衣	15	4	1	1	1
15		篠田 奈那	—	—	—	—	—
16		安並 果音	0	0	0	0	0
17		間嶋 春妃	—	—	—	—	—
18		和泉 優子	—	—	—	—	—
HC		川井 文雄 / TEAM	—	—	—	—	—
		合計	65	8	17	7	9

S: スターター    PTS: ポイント    3P: 3ポイントシュート    2P: 2ポイントシュート    FT: フリースロー    F: ファール

第1ピリオド、両チームハーフコートマンツースタート。立ち上がり両チーム硬さからかターンオーバーを繰り返す。岡豊は#4の1対1からパスを合わせて加点していく。対する英明は#7がインサイドからパスを合わせて対抗する。残り3分のところで英明がチームファールが5つとなってしまふ。岡豊がそこから得たフリースローを確実に決め、岡豊4点リードで第1ピリオド終了。  
 第2ピリオド、ディフェンスはハーフコートマンツースタート。岡豊#4、#7の1対1で加点する。対する英明は#5の1対1で対抗。残り4分、岡豊のタイムアウト。そこから#4、#7、#14の3連続3Pで点差を広げる。英明は#7がリバウンドを取り食い下がるが、3Pでうまく加点した岡豊が9点リードで第2ピリオド終了。  
 第3ピリオド、英明がインサイドとアウトサイドでバスを多用し、確実にシュートを決め追いついていく。攻撃のいい流れがそのまま守備にもつながり、残り2分で英明が逆転。英明が流れを掴み、56-51の5点リードで第3ピリオド終了。  
 第4ピリオド、岡豊が#8の3Pをきっかけに逆転する。対する英明は#8の1対1で加点し、一進一退の攻防を繰り返す。残り3分を切ったところで疲れの見え始めた岡豊のシュートがリングに嫌われてしまふ。その隙に英明#8の連続得点で岡豊を突き放す。残り2分、追いかける岡豊はオールコートマンツースを仕掛けるも、英明がこれをうまくかわし追いつかせない。最後は相手のオールコートマンツースをうまくかわした英明が73-65で勝利した。

担当者: 西村 臣輔 (愛媛県クラブバスケットボール連盟)

四国バスケットボール協会

